

企業成長促進による産業力強化について

(経済環境常任委員会・所管事務調査報告)

令和8年3月

高松市議会

高松市議会では、毎年度、常任委員会ごとに、委員会の所管事項のうちからテーマを設定し、閉会中継続調査（所管事務調査）を行っております。

そこで、経済環境常任委員会としては、令和7年度の調査テーマを「企業成長促進による産業力強化について」に決定し、鋭意、調査検討を重ねるとともに、香川大学生との意見交換会、2回にわたる高松第一高等学校生徒との意見交換会、及び高松市議会まちづくり対話会での意見を踏まえ、このたび委員会として調査結果を取りまとめたので、以下、報告いたします。

1 現状及びテーマ選定に至る理由について

本市は、四国の玄関口として、国の出先機関や企業の支社・支店の多くが立地しており、支店経済都市とも呼ばれてきましたが、四国内の人口減少や交通、情報通信環境の変化などの影響により、支店経済機能の低下が懸念されています。

こうした状況の中、地域経済の持続的な発展を進めるためには、確固たるビジョンを持って、産業力を高める取組を推進する必要があるとして、令和7年6月20日の委員会において所管事務調査テーマに選定しました。

2 委員会等の開催状況及び活動内容について

(1) 経済環境常任委員会

① 令和7年8月8日 当局からの現状等の説明・質疑応答

〔当局の説明概要〕

人口減少やニーズの多様化等を背景とした市場規模の縮小や、生産年齢人口の減少等に伴う労働力不足、また、原材料価格等の高騰やカーボンニュートラル等の新たな課題への対応など、企業を取り巻く環境は大きく

変化している。このような複合的な要因から、企業収益が圧迫され、挑戦意欲が低下している状況にあり、今後、特に潜在的な成長志向のある中小企業を後押しし、成長マインドへの意識変化、自走による企業成長を促進することにより、市域・県域のGDP拡大を目指している。

- ② 令和7年 9 月 22 日 論点整理・質疑応答・先進地視察の候補地及びまちづくり対話会の相手方についての意見交換
- ③ 令和7年 12 月 18 日 論点整理・質疑応答
- ④ 令和8年 2 月 5 日 先進地視察後の委員間討議
- ⑤ 令和8年 2 月 16 日 取りまとめ内容の確認

(2) 視 察

令和8年 1 月 29 日・30 日 先進地視察

○愛知県豊橋市・兵庫県姫路市

- ・豊橋市産業戦略プランについて
- ・スタートアップの育成支援について
- ・姫路市経済振興ビジョンについて
- ・多様な人材が活躍する労働環境について 等

29日 愛知県豊橋市



30日 兵庫県姫路市



(3) 意見交換会

① 高松第一高等学校生徒との意見交換会

令和7年9月29日・10月27日

② 香川大学生との意見交換会

令和7年10月20日

③ 高松市議会まちづくり対話会

令和8年 1月20日

3 委員会としての提言内容について

〔令和8年3月2日の委員長報告（閉会中継続調査終了）〕

(1) 地域経済の成長促進について

- ① 他の産業等への波及効果も視野に入れながら、経済成長の柱となるような基幹産業の創出や誘致に努めること。
- ② 事業者が抱える課題の解決や経営基盤の強化を図るため、スタートアップとの連携や共同開発の機会の醸成に努めること。
- ③ 中小企業の経営者同士の交流や知識の習得を図れるような場の創出に努めること。

(2) 地域特性を生かした取組について

- ① 企業誘致のためにまとまった土地を確保しづらいといった本市の地理的状況を踏まえた上で、本市に見合った産業力を最大化させる方策を検討すること。
- ② 伝統工芸等、地域産業として成長の可能性を秘めている産業について、現代に合わせた改良やブランディング等への支援を検討すること。

(3) 雇用の創出と労働力確保について

- ① 高校生や大学生の段階から地域の企業と交流を持つことができるような方策を検討すること。
- ② 豊富な経験やスキルを持つ潜在的な人材を、副業人材として活用するなど、既存の労働力を最大限に活用する方策を検討すること。

(4) 今後の中長期的な産業振興について

- ① 本市の目指すべき姿や理念、基本方針を明確にし、農業や工業、観光などを一体的に網羅した産業振興ビジョンの策定を検討すること。また、策定に当たっては、全庁を挙げて取り組むとともに、県や経済団体等と緊密な連携を図ること。
- ② スタートアップによる新たな地域産業の創出が展開される仕組みの構築を検討すること。
- ③ 人材確保と産業力強化を両輪として、本市における課題解決や、発展し続ける地域経済を目指し、取組を進めること。